



7月10日、石塚村長初登庁。

任期満了に伴う村長選挙が6月24日に告示され、無投票により3選を果たした。

12期連続の無投票となったが、選挙が行われないと住民が保守的になり変化や改革を望まなくなっていく。

民意を問う必要がある事案は、これまで同様、住民への丁寧な説明と住民の声にならない声を拾ってほしい。

令和7年 第2回 定例会

令和7年第2回村議会定例会が、6月9日から16日までの8日間の会期をもって招集されました。

初日は、補正予算及び条例の制定・改正など6件を審議した結果、全て原案のとおり可決しました。

最終日には、条例改正1件と発委、発議の案件を審議し原案のとおり可決しました。

また、2人の議員から一般質問を行いました。

定例会の主な内容

補正予算

◎令和7年度一般会計補正予算(第2号)

歳出補正の主な内容

- ・開村130年記念誌作成事業 251万円
- ・費用弁償、普通旅費等 35万円
- ・村営バス運行業務委託料 △358万円

△69万円

△358万円

△69万円

△358万円

条例制定

◎新篠津村まち・ひと・しごと創生基金条例の制定について

まち・ひと・しごと創生寄附活用事業の費用に充てるため基金条例を制定し、その管理等に関する事項を定めるものです。

条例改正

◎新篠津村議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

◎特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

◎職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例について

旅費に係る宿泊料が近年高騰していることから、各条例を改正するものです。

◎新篠津村議会議員及び新篠津村長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例について

公職選挙法施行令の一部を改正する政令の施行に伴い、選挙運動用ビラ等の作成単価の引き上げを行なうため、本条例を改正するものです。

一般議案

◎新篠津村第4辺地に係る総合整備計画の策定について

第4辺地総合整備計画に第38線篠津川橋改修工事を追加するため変更するものです。

意見書

◎ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書

行政常任委員会の提案による意見書を可決し、政府関係機関へ意見書を、北海道選出国会議員には陳情書を提出しています。

第1回臨時会 (5月26日)

専決処分

◎令和6年度一般会計補正予算(第11号)

歳出補正の主な内容

- ・減債基金積立金 4199万円
- ・公共施設営繕基金積立金 1億1870万円
- ・公金支払サービス手数料 △234万円
- ・ふるさと納税業務委託料 △1413万円

条例改正

◎新篠津村国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

地方税法施行令等の一部を改正する政令が施行されたことに伴い、国民健康保険税の適正賦課と保険基盤の安定化を図るため、低所得者における保険税の算定に係る軽減判定基準を見直

・低所得世帯支援及び定額減税補足給付費 △651万円

・村道・公共施設除排雪業務等委託料 △200万円

・機械借上料 △104万円

△104万円

△3368万円

△3368万円

△3368万円

すとともに、基礎及び後期高齢者支援金等に係る課税限度額の引き上げについて所要の改定を行うため、本条例を改正するものです。

人事

◎新篠津村教育委員会教育長の任命について

荒谷前教育長の退任に伴い、新教育長に吉本浩志氏を任命したいとの提案があり、これに同意しました。任期は、令和7年6月1日から令和10年11月30日までです。



吉本 浩志 氏

補正予算

◎令和7年度一般会計補正予算(第1号)

歳出補正の主な内容

- ・不足額給付金システム改修手数料 61万円
 - ・修繕料 80万円
- 〈今回の補正額〉

141万円

〈補正後の予算総額〉

38億6041万円

第2回臨時会 (7月23日)

人事

◎副村長の選任

7月31日で任期満了となる副村長に古谷直樹氏を引き続き選任することで同意しました。任期は令和11年7月31日までの4年間で、古谷氏は3期目となります。



古谷 直樹 氏

顕彰

◎村政功労者の推薦決定

永年にわたり地域農業の振興発展に貢献された元新篠津村農業協同組合代表理事組合長の三品幸治氏、永きにわたり議会議員及び農業委員として地方自治の振興発展に貢献された植島豊氏の推薦があり、これを決定しました。

一般議案

◎物品購入契約の締結について

【物品名】
学校情報機器

【規格及び数量】
iPad 197台

【契約方法】 随意契約

【契約金額】 1361万円

【契約相手方】

札幌市中央区
NTTドコモビジネス株式会社

【納期】

令和8年1月30日まで

補正予算

◎令和7年度一般会計補正予算(第3号)

歳出補正の内容

・村政功労者褒賞金 10万円

・印刷製本費 8万円

〈今回の補正額〉

18万円

〈補正後の予算総額〉

38億5989万円

議会日誌

【5月】

2日 石狩管内町村行政懇談会

4日 二十歳を祝う会

14日 商工会通常総会

26日 議会運営委員会

議員協議会

第1回村議会臨時会

27日 町村議会議長・副議長研修会 (東京都)

石狩町村議会議長会 (東京都)

臨時総会 (東京都)

【6月】

2日 議会運営委員会

議員協議会

9日 議会運営委員会

議員協議会

第2回村議会定例会 (初日)

10日 行政常任委員会

北海道町村議会議長会

定期総会

16日 議会運営委員会

議員協議会

第2回村議会定例会 (最終日)

【7月】

1日 新篠津消防回訓練大会

3日 平和祈念戦没者慰霊祭

8日 北海道町村議会議長会

議員研修会

15日 温泉施設改修現地調査

新篠津村人会

18日 中学生による政策提案

22日 議会運営委員会

23日 議員協議会

第2回村議会臨時会

行政常任委員会

議会広報特別委員会

一般質問

村政のここが聞きたい

～教育行政について2人の議員が問う～



- 1 南部 隆志 議員
・教育行政にかかる執行方針について
- 2 大塚 裕樹 議員
・食農教育の重要性について



一般質問に答弁する吉本新教育長



食農教育について問う大塚議員

令和7年第2回村議会定例会が6月9日から16日の8日間の日程で開催され、議会最終日に2人の議員が一般質問し、吉本教育長に答弁を求めました。
(紙面の都合上、要約し掲載しています。)



Q. 教育行政の執行方針
新教育長の考えや思いは

A. 村の良さ生かした教育へ
何ができるか常に考える

一般質問

なんぶ たかし 議員
南部隆志 議員



動画はこちら

○南部議員 質問

吉本教育長は令和2年4月から3年間、コロナ禍の困難な時期に新篠津中学校校長として赴任し、大変苦勞されたと思う。

生徒の命をどのように守るかと同時に、学習時間を確保しなければならぬなど、今までに経験したことがない特異な環境のなかで教員生活を本村で過ごされたと認識している。

教職員としての現場実績やコロナ禍などでの経験を通じて、教育長としてのどのような基本的な考え方や思いを持っているか。

○吉本教育長 答弁

今までの経験も踏まえ、新篠津の良さを生かした教育行政の先頭に立つ者として、次の5点を大切にしていきたい。

- ①地域とのつながりを大切にしたい。
- ②柔軟な対応力と組織マネジメント
- ③子どもに生きる力を身に付けさせ、自立した姿を目指す

指す学校教育の推進

- ④目指す子ども像を共通の目標とした、学校・地域との連携・協働
- ⑤村長・行政との連携を大切にしたい。

対話を大切に、村民の思いを受け止めた教育施策の立案と執行に努め、変化に対応できる柔軟さをもち、時には私自身が現場支援や対外調整をするなど、先頭に立って対応したい。

創意ある教育課程の編成を学校に求めるとともに、社会性を育むための体験学習を重視させ、小中一貫教育とコミュニティ・スクールの仕組みを生かした開かれた学校づくりの進化を目指したい。

教育行政を預かる立場から、子育て支援や村の魅力を伝える取り組みなど、村の課題を一体的に取り組みむ必要がある、豊かな田園に囲まれた笑顔あふれる新しのつの実現に向けて、何が

できるかを常に考えていきたい。



**Q. 食農教育の充実に向けて
しっかり取り組んでは**

**A. バランス重視しながら
食農教育の充実を図る**

一般質問

おおつかひろき
大塚裕樹 議員

動画はこちら

○大塚議員 質問

食農教育とは、食と農をつなげて、食べ物の大切さや農業の重要性を教育することを目的とし、特に学校教育では、子供たちに食べ物やその背景を学ばせる教育の一環として行われている。

この教育を通じて、食への理解を深め、持続可能な社会を目指すことを目標として全道で取り組まれており、我が村でも今まで以上に食農教育の充実に向けてしっかり取り組むべきと考えるが。

○吉本教育長 答弁

本村の学校教育においては、基幹産業である農業を身近な職業として感じてもらい、農業の魅力ややりがいについて考える機会とす

るために、地域の協力を得て、中学校1年生対象の農業体験学習を実施している。また、小学校では、田植えや稲刈り、小豆の種まき、羽釜を使った炊飯などの様々な体験を行い、自然と

の触れ合いや命の大切さ、農業の大切さを学ぶよい機会となっている。

これらは、豊かな自然と農業の振興を強みとする新篠津の特色ある教育であり、これからも大切にしていきたい不易の部分である。

子どもたちが体験を通して、農業という職業を身近なもの、魅力的なものとして感じ取ってくれることを願っており、その指導と支援を教育委員会として行っていきたい。

私見だが従前の農業体験に加えて、スマート農業に関わる体験的な学びや農業の6次産業化について学びを深めることが、農業を魅力的なものと感じる手段になり得るかもしれないと考えている。

これからも食農教育の充実に向けて、しっかりと取り組んでいく必要があると捉えている。

学校が掲げる重点目標の達成に向けて、ねらいを明らかにしながら、本村の食農教育の充実を図りたい。

令和7年6月24日に告示された新篠津村議会議員再選挙において、植島こずえ氏が無投票で当選したので紹介します。



議席番号6

植島 こずえ

当選回数1回

- ①住所／ふらわ
- ②生年月日／昭和55年9月24日
- ③年齢／44歳
- ④職業／会社役員
- ⑤所属党派／無所属
- ⑥好きな言葉／雨垂れ石を穿つ
- ⑦趣味・特技／モルック、犬との時間
- ⑧抱負／常に一村民の立場から、村民生活の改善と向上を皆様に実感いただけるよう努力し力を尽くして参ります。

町村議会議長・副議長研修会

令和7年度町村議会議長・副議長研修会が5月27日、東京国際フォーラムで開催され、山元栄議長と南部隆志副議長が参加しました。

研修会には全国から約1,300名が参加し、本年が阪神・淡路大震災から30年の節目であることから、例年以上に防災・減災対策の機運を高めることをテーマに「防災DX」や「災害時の議会議員の役割」などについて講師から講演をいただきました。



北海道町村議会議員研修会

令和7年度北海道町村議会議長会議員研修会が7月8日、札幌コンベンションセンターで開催され、議員及び議会事務局職員が参加しました。

研修会では、「地方議会における議員の多彩化に向けて」をテーマとして、西南大学法学部教授 勢一智子氏と、「人口減少社会を生き抜くために」をテーマに人口戦略会議副議長 増田寛也氏に講演をいただきました。



議会通信しんしのつ

議会通信しんしのつは、新篠津村議会ホームページからでもご覧いただけます。



議会インターネット中継

本会議などの中継（録画）をインターネットで配信しています。



令和7年 第3回定例会のお知らせ

9月4日(木)
～9月12日(金) 予定



どなたでも傍聴できます。皆さんのご来庁をお待ちしております。

編集後記

コメ不足により全国的な価格高騰が問題になった「令和のコメ騒動」が、政府の備蓄米の放出などにより、現在では5キロあたり4000円を下回り店頭に並ぶようになった。今年も厳しい暑さの夏を迎えているが、そのことにより小麦の生育が早く収穫の時期も例年より早まった。このままいくとコメの収穫期も前倒しとなることが予想される。猛暑が続く影響でコメの品質低下や収量減少などが懸念され収穫までの管理が難しくなる一方、生産者としては、昨年に続きある程度の米価を期待できる年になることを願うばかりだ。

しかし、そうは言っても消費者の目線で考えると、主食として毎日食べるコメはやはり安く買えるに越したことはないだろう。

現在、茶碗一杯50円程度とされているコメの価格が、はたして安いのか高いのかコメの適正価格について今一度考えさせられる。

(竹村 記)

議会通信しんしのつ

(令和7年8月1日発行)



発行／新篠津村議会 編集／議会広報特別委員会
住所／北海道石狩郡新篠津村第47線北13番地

☎(0126) 57-2111